

安全運転

2025

1

No. 625

発行所・発行人 岡山県安全運転管理者協議会連合会
岡山県運行管理者協議会連合会

〒709-2192 岡山市北区御津中山444-3
岡山県運転免許センター 安全運転学校内 TEL (086) 724-4363
定価1部75円(但し、会員の購読料は、会費に含めて徴収)

令和七年元旦

迎春

令和6年度 安管・運管交通安全スローガン

「気を抜くな ハンドル持つ手は 帰るまで」

新年の御挨拶

令和7年の新春を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

岡山県安全運転管理者協議会連合会並びに岡山県運行管理者協議会連合会の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から事業所における安全運転管理や運行管理をはじめ、警察業務各般にわたり、深い御理解と御支援を賜り、心から敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

さて、県下の交通情勢についてありますが、昨年の人身交通事故の件数・負傷者数は一昨年より減少したほか、JAFが行った信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率の調査では、停止率が67.2%に上昇するなど、改善の兆しが見られたところです。

しかしながら、昨年の交通事故死者数につきましては、一昨年と比較して増加に転じたほか、交通事故死者数に占める高齢者の割合は死者全体の半数以上と高止まり状態であり、交通事故をめぐる情勢は依然として厳しい状況にあります。



岡山県警察本部

交通部長 寶満智彦

このような情勢の中、県警察では、県民の交通安全意識を向上させ、悲惨な交通事故を1件でも減らすため、交通安全等を踏まえた交通安全教育や広報・啓発などの活動に取り組んでいるところであります。

どうか、皆様方におかれましては、きめ細かな安全運転管理業務、運行管理業務を通じて、事業所における交通ルールの徹底を行い、横断歩道での歩行者優先や確実な合図の履行等に努めていただきますようお願い申し上げます。

県警察といたしましても、引き続き、皆様方を始めとす

る関係機関・団体と連携して、道路交通の安全と円滑の確保に全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、より一層のお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、両連合会のますますの御発展と、会員の皆様方と御家族の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和7年 岡山県交通安全年間基本スローガン

「安全は 一人一人の 思いやり」

新年の御挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より、安全運転管理者または副安全運転管理者として、事業所における安全運転管理業務や地域における安全運転活動はもとより、本連合会の運営につきましても、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故の発生状況についてですが、前年に比べて総事故件数、人身事故件数、物損事故件数が減少傾向でありましたが、交通事故死者数が一昨年49人であったところ、前年比11人増加の60人となっております。

また、安全運転管理者

選任事業所の従業員が関係する人身事故につきましては、一昨年に比べて発生件数、負傷者ともに増加しており、死者数は、一昨年と同様の4人となっております。

人身事故の特徴として、発生時間帯は、6時から10時の間が最も多く、事故類型は、追突事故が多発しました。

法令違反は、安全運転義務違反が最も多く、その内、前方不注意と安全不確認が約8割を占めました。このようなことから、事業所において安全運転管理に携わる私共と致しましては、今一度、交通事故は、「身近に存在するリスク」であることを認識する



岡山県安全運転管理者協議会連合会

会長 増 永 雅 嗣

必要があると考えます。

交通事故の発生は、ドライバーである従業員はもとより、事業所にとりましても、様々な面において大きな損失を招く大きなリスクの一つであります。安全運転管理の徹底を通じて交通事故を防止していくことは、安全運転管理者、副安全運転管理者に課せられた責務であり、ひいては事業の発展に繋がるものと考えております。

そこで、本連合会といたしましては、本年も引き続き、県警察や県運行管理者協議会連合会等の関係機関・団体と連携しまして、交通マナーアップをはじめとする各種交通安全活動や、機関紙「安全運

転」による情報発信、研修等を通じて交通事故防止に取り組んで参りたいと考えております。

皆様方におかれましても、引き続き、これまで培われてきた安全運転管理の知識や経験、また、卓越した指導力を発揮していただくとともに、各地域での交通安全活動を通じて、交通事故防止に一層のご尽力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、各地区協議会の益々のご発展と、皆様方をはじめ従業員の方々のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。
本年も安全運転管理を一層徹底して交通事故防止に努力しましょう。

地区	地区会長名
岡山中央	山吹文彦
岡山東	松本俊成
岡山西	杉原正信
岡山南	尾崎隆王
岡山北	藤井美行
赤磐	原田俊治
備前	増永雅嗣
瀬戸内	横山敬弘
玉野	中岸敬崇
児島	森陽一郎
倉敷	橋本典男
水島	秋山浩一
玉島	難波義昌
笠岡	虫明次
井原	片井啓介
総社	小林琢也
高梁	小林由和
新見	浅川卓司
真庭	片山隆久
津山	秋田英次
美作	森安栄次
美咲	神坂健治

新年の御挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、平素から、運行管理者等として、企業における運行管理業務はもとより、地域におかれましても関係機関団体との交通安全活動に多大なご尽力を賜りますとともに、当連合会の運営につきましても、深い御理解と御支援をいただいておりますこと、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、国内の物流の多くは、トラック運送事業に支えられており、また、陸上での公共交通の多くは、鉄道・バス・タクシー事業によつて支えられていると言つても過言ではないと思っております。

そうした中、2024年4月1日から、厚生労働省が物流・自動車運送業界などの時間外労働の上限規制を設け、「働き方改革関連法」として施行し、トラック運送業界も時間外労働時間が年間960時間(月80時間)と規制されることとなり、昨年には、トラック運送の「告示運賃・料金」の改定、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律」の施行など、輸送費の適正化やドライバーの働き方の適正化等を図る規定が相次いで整備されました。

また、警察庁・国土交通省からは、安全で良質なサービスを提供していくために、過積載に対する荷主への

罰則や措置等を定める規定も整備されるなど、我々物流事業者だけでなく、荷主様にもご理解いただかなければならないなど、運行管理を巡る情勢は厳しいものと言わざるを得ません。

一方で、岡山県の交通事故の状況を見ますと、交通事故件数等は減少傾向にあるものの、死者数は60人と一昨年に比べ増加するなど、依然として交通情勢は厳しく、自動車運送に携わる事業者として、交通事故は事業所のイメージダウンのほか、ドライバーの安全にかかわる大きなリスクであります。

このように、運行管理者には「2024年問題」

岡山県運行管理者協議会連合会

会長 伊賀 資 耕



とりわけ改正「改善基準告示」への的確な対応、交通事故・違反防止に関する指導・管理など、その任務は重要度を増すとともに、大きな責任を有する業務となっており、これら課題が山積する中で、当連合会員各位が力を合わせて、物流産業を魅力ある職場とするため頑張つて参りたいと思います。

関係機関・団体の皆様におかれましても、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりにりましたが、各地区協議会、各事業所の益々の御発展と皆様方の御健勝、御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年も運行管理に努めていただくとともに、事業所のご発展と皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

地区	地区会長名
岡山中央	安原 秀二
岡山東	藤原 清
岡山西	皆木 邦雄
岡山南	永山 久仁彦
岡山北	伊賀 忠康
赤磐	羽原 俊行
備前	伊賀 資耕
瀬戸内	田中 大一
玉野	今田 已知也
児島	堀江 秀福
倉敷	山本 大介
水島	村瀬 勇人
笠岡	千田 修
井原	赤田 博文
総社	坂元 功志
高梁	今田 詔憲
新見	河上 真一
真庭	倉脇 敏弥
津山	森脇 正人
美作	岡田 成実
美咲	奥村 哲美

新 事故の心理・安全の心理



謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



NPO法人 安全と安心 心のまなびば 代表
川崎医療福祉大学 名誉教授
主幹総合交通心理士 健康心理士
金光 義弘

約四年間のコロナ禍も一段落して、良い年が迎えられると期待した昨年も、世界平和の実現は夢のままに通り過ぎました。一方、国内政治も安定軌道にのらず、混迷を続けて落ち着く気配が感じられません。日常生活は物価高や増税不安によって、残念ながら新年も安穩としておれない状況がしばらく続きそうです。

あまり光り輝くことが多いとは言えない年でしたが、「金」色に輝いた出来事がなかったわけではありません。例えば真夏のパリオリンピックのメダルラッシュと、昨年末の日本原水爆被害者団体協議会(被団協)のノーベル平和賞受賞という二ユー

スは、大いなる喜びと勇気を与えてくれたのではないのでしょうか。

特に、ノルウェーのオスロで開催された授賞式の記念講演において、被団協の田中代表理事が述べられた「核兵器使用のリスクが高まる中、ノーベル賞の受賞で我々にかかけられる期待値は一層大きくなりました」という言葉に、私たち日本国民の背筋が一瞬ピンと伸びたように感じられました。受賞された被団協に対する祝福と敬意表明に終わってはならないと思った次第です。

授賞式に参加した4名の女子高校生平和大使が、口々に「若者に託された責任の大きさを感じた」と語り、参加者の多くの人々が「核軍縮条約に批准しない国に代わってやるべきことをしなければならぬ」といった発言に共鳴し、我々自身の強い決意表明でもあると感じたのです。

核なき世界、戦争のない世界に向

けた活動は、受賞した被爆者の方々だけに託された願いと活動ではなく、老いも若きも今に生きる国民の共通した宿命であり、その目標に向けた途切れない活動でなければならぬと思います。

翻って、交通事故のない、住みよい我が国の交通社会に向けた願いと行動もそうあらねばなりません。本年も命ある限り皆様方と共に活動させていただきます。よろしく願い致します。

令和七年 元旦



あなご 贖いの日々

自分の身勝手さの代償

K・S 電気工事士(40代)

私は身勝手で無責任な行動により、他人の大切な命を奪ってしまいました。

事件を起こした日は、正月休みのため気が緩み切ってしまい、昼間から酒をだらだら飲んでいました。

すると、午後6時50分ころ、妻から電話で「役所の駐車場にいたので迎えに来てくれる」と聞かれました。

その時、妻は電話口で「お酒は飲んでいない?」と確認したそうですが、私は、酔っている人がよく使う台詞で「飲んでいいないし、酔ってもいいない」と答え、酔いがまわった状態で、自宅の駐車場から車を発進させました。

事故を起こしたのは、自宅から50メートルも離れていない、ほとんどの家の前といった所です。そこで近所に住む70代の女性を車で撥ねてしまったのです。

本来ならば、すぐに車を止め、救護しなければならぬのですが、酒を飲んでいた私は、「撥ねた相手は人ではない」と勝手に思い込み、その場から立ち去ってしまいました。

しかし、しばらくすると、やはり心配になり現場に戻ると、警察の車

と救急車が停まっていました。

それを見て、自分が人を撥ねてしまったことが分かりました。

警察で取調べを受けている時に被害者の方が亡くなられたと知らされました。

自分が「人を殺してしまった」と思うと、とてもやるせない気持ちになりました。

事件から1年1か月後に裁判が始まりました。

法廷では、ご遺族の方から、家族で過ごした楽しい思い出や、お孫さんと過ごされたエピソード等が紹介され、私がその全てを奪ってしまったことを思い知らされました。

判決は懲役3年でした。

人を一人殺して懲役3年という刑期が長いのか、短いのか、私には分かりませんが、ご遺族からすれば短いと思います。

ご遺族が、「もっと重い刑にして欲しかった」とおっしゃる気持ちは当然だと思います。

私は今回の事件で、被害者の尊い命だけでなく、ご遺族や被害者と親交のある人達にも悲しく、辛い思いをさせ、多くのご迷惑をかけてしま

いました。

もし、この事件が起きていなければ、ご遺族はもっと被害者との楽しい思い出を作れたことでしょう。そして亡くなられた被害者の方も、お孫さんの結婚式などに出席することができたと思います。

私の息子と被害者のお孫さんとは、小学校、中学校の同級生でした。お孫さんにしてみれば、同級生の父親が自分の大切な祖母の命を奪ったことが、受け入れがたい事だと思っています。

また、今回の事件がきっかけとなり、妻とは離婚しました。妻の母親と被害者とは昔からの親友で、妻も幼いころから可愛がってもらった近所のおばちゃんという間柄でした。

私はご遺族だけでなく、自分の家族をはじめ、妻の実家や親戚、町内の人達など周囲の人全てを巻き込んでしまいました。

私の身勝手で無責任な行動により、私の手元に残った物は、刑務所に入る際に持ち込んだ手荷物だけでした。

私は今、市原刑務所で受刑生活を送っていますが、ここで沢山のことを学びました。

その一つは、刑期は決して償いの期間ではなく、自分が起こした事件を振り返り、反省するための期間であるということです。

また、どのようにご遺族に謝罪し、償いをするのか、それを考える期間でもあります。

私はこの事件を起こす前から、決

められたルールを守らずに、自分勝手な解釈にねじ曲げて生活するタイプの人間でした。

その結果、交通ルールを無視し、酒を飲んで車を運転し、尊い人の命を奪ってしまったのです。

「酒を飲んだら車を運転しない」という基本的な交通ルールは、子供でも知っていることです。

私はそんな基本的なルールでさえ守れなかったのです。

そんな私が、皆さんにお願いできる立場ではありませんが、あえて言わせてください。

皆さんは交通ルールを守ってください。そして、決して私のような過ちを繰り返さないでください。

自分勝手な行動の代償は大きく、全てを失うことになります。



あやまちを
反省し
社会人として
立直ることを
誓います
(市原刑務所内に設置)

(注) 一般財団法人

東京都交通安全協会発行

「贖いの日々」

— 交通事故の悲劇を繰り返

返さないために—から転載

無断転載を禁止します。

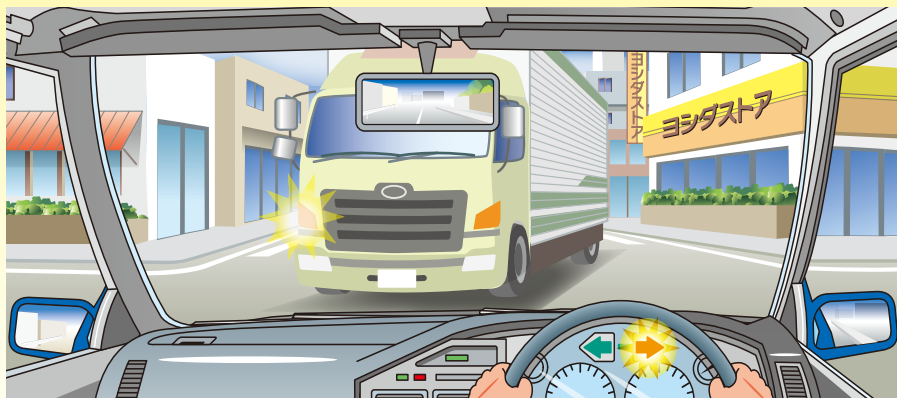
危険予知訓練を実施しよう

交通場面のイラストに基づいて、いくつかの危険を指摘してみましょう。

対向右折車の前を
右折するときの注意点！

★状況

- ・トラックが対向車線で右折待ちをしています。
- ・対向車はこないようなので、あなたは右折しようと思います。



Q1 どのような危険がありますか？

Q2 どのような運転をしますか？

※解答は8ページに掲載します。

【雪道対策】

① 気象情報の確認

近年は、予想を超える大雪となるケースが増えています。
あらかじめ、気象情報等を的確に把握し、適切な準備をすることが大切です。

② 冬用タイヤの準備

- オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で路面と一部接触可能な積雪状況を想定したタイヤです。
- 路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、スタッドレス表記(国内表記)又はスノーフレークマーク(国際表記)が表示されている冬用タイヤを全車輪に装着してください。

③ タイヤチェーンの携行

降雪地域を運行する場合は、タイヤチェーンを必ず携行するなど、万全に備えてから出発しましょう。また、タイヤチェーンの装着手順、正しい着用方法を確認しておきましょう。

④ タイヤチェーン装着時の走行上の留意点

- 30キロ以下の速度で走行する。
- 急加速、急ブレーキ、急ハンドル、高速走行はタイヤチェーンの破損・亀裂の原因となるので避ける。

⑤ 雪道や凍結しやすい道路での走行上の注意点

交差点とその付近、カーブ、下り坂、橋の上、日陰部分などは、大変危険です。
予め安全な速度に調整し、常に危険を予測しながら運転しましょう。

あけましておめでとうございます
今年も安全運転を心がけ
事故のない一年に
しましょう。

安全ファミリー

一年の計は元旦にあり。
今年一年の目標を
立てて無事故無違反を
目指そう。

飲酒運転の根絶!!

お年寄りを守ろう!

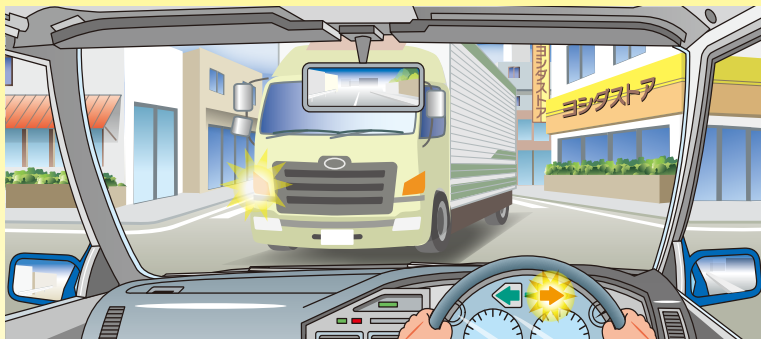
まわりのドライバーの模範となるような
運転を心がけましょう。



対向右折車の前を右折するときの注意点

〇 〇 対向車両がトラックの場合、特に、死角が大きいため注意しましょう。
 立場を変えて、右折しようとしている前車の側方を直進通過しようとしている場合、対向右折車の存在も考えて速度を落として注意して走行しましょう。

ここに気をつけよう



Q1 どのような危険がありますか？

- 解答
- ・ 対向車線のトラックの後方が死角となります。
 - ・ 対向車線が狭いためトラックの側方は、四輪車の通行は困難ですが、二輪車等は、すり抜けて前に出てくる可能性があります。
 - ・ このように対向トラックが右折状態となった場合、そのトラックの後方から車がかないと思ひ込み、右折を開始してしまいがちですが、二輪車等は、前に障害物があっても何とかして前に出ようとして交差点を通過することが予想されます。

Q2 どのような運転をしますか？

- 解答
- ・ 対向車両の後方から直進車両が出てくることも考えに入れておきましょう。
 - ・ 右折する場合、そろそろと対向車線が見通せる位置まで進み、安全を確認しましょう。

7ページに掲載した危険予知訓練の解答は次のとおりです。

危険予知訓練を実施しよう(解答)

トピック

安全運転管理者選任事業所トップセミナーの開催

12月18日(水)、岡山県運転免許センターにおいて、事業所の管理職等を対象に「安全運転管理者選任事業所トップセミナー」を開催しました。

セミナーでは、講師として(一社)日本自動車連盟岡山支部から建部拓氏、岡山県精神保健福祉センターから白根澤譽史氏、岡山学芸館高等学校から高原良明氏(サッカー部監督)をお招きし、安全運転管理、飲酒運転対策、マネジメントなどについて講演して頂きました。

中でも、高原講師は「雑草軍団 奇跡の軌跡」と題し、監督として令和5年度学芸館高等学校サッカー部を全国優勝に導かれた際のコーチング等について、苦労話などのエピソードとともにご講演頂き、参加者一同感動的な講演に真剣に聞き入るなど、有意義なセミナーとなりました。



挨拶を行う増永連合会会長



挨拶を行う徳重交通企画課長



建部講師



白根澤講師



高原講師